

令和3年度の重点的取組み

- ① 地域コミュニティ活性化のための支援
- ② 住民同士が交流できる集いの場づくりへの支援
- ③ 地域防災・防犯力強化・向上のための支援
- ④ 被災者支援

【東区まちづくり推進経費】

(単位:千円)

重点的取組み			事業名	当初事業内容	変更内容・代替手法等	予算額	削減額	見直し後
①	②	③	1 地域の情報ネットワーク活性化支援事業	町内自治会長や地域各種団体の役員を対象に、新しい生活様式に基づく地域活動が実践できるよう、ICT講座を開催するなど、地域活動におけるICT技術導入を推進する。	○地域の情報ネットワーク活性化支援事業⇒現状維持(地域のコミュニティ活動支援経費のため) 【R3年度の取組み】感染予防対策や周知を行いながら、各まちづくりセンターでの講座の開催や、地域の状況に合わせた講師の派遣を行う。	1,500	0	1,500
①	②	③	2 東区地域コミュニティづくり支援補助金	地域団体等が行う地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に向けた取り組みに対して活動費の一部を助成する。	○東区地域コミュニティづくり支援補助金⇒現状維持(地域のコミュニティ活動支援経費のため) 【R3年度の取組み】感染予防策の確認や周知を行いながら、7月末開催の審査会で補助対象事業を決定する。(5月末時点で6件の企画提案書の提出有。6月末メ切。)	3,700	0	3,700
①	②		3 東区民文化スポーツ交流事業	地域行事の発展や地域内交流の促進を図るため、地域主体の文化やスポーツ交流の催しに対し、区長賞の提供を行う。また、地域間・世代間交流を目的に、地域と連携したスポーツ大会(ミニバレー)を実施する。	①スポーツ大会⇒中止 【代替手法】なし【R3年度の取組み】次年度以降開催予定とし、区長賞提供事業へ移行できるよう関係団体と協議を進める。 【削減予算】なし ②区長賞提供事業⇒地域行事の開催内容により実施。(ピアレス七夕まつり笹飾りコンクールの区長賞提供なしは決定) 【代替手法】なし【R3年度の取組み】地域の実施事業への区長賞提供、情報提供を行う。 【削減予算】なし	160	0	160
①	②		4 あさひばりビング(地域交流スペース)活用支援事業	子育て世代や高齢者・若者間等で新たなコミュニティの派生を促し、地域の活性化とまちづくりのアイデアを引き出すことを目的に、あさひばりビング(地域交流スペース)において、市民先生によるワークショップを開催する。	①あさひばりビングワークショップ⇒事業見直し(縮小) 【代替手法】なし 【R3年度の取組み】回数を年12回から4回に削減しワークショップを実施。地域ニーズを反映したワークショップテーマの検討・市民先生の発掘・選定。 ②あさひばりだよりの発行(地域まちづくり情報の発信)⇒月1回の発行(現状維持) 【代替手法】市ホームページ、東区Facebookの活用。【R3年度の取組み】地域情報や防災情報を掲載し、町内回覧等を活用して情報を発信する。 【削減予算】報償費48千円 需用費3千円	420	▲51	369
①			5 地域活動理解促進事業	地域活動やPTA活動への理解・参加促進を図るため、小学校と連携し、新入学児とその保護者同士の交流の場づくりを行う。	○就学前世代交流 ⇒中止(3密となるため) 【代替手法】なし 【R3年度の取組】次年度開催に向けて、モデル校との打ち合わせを継続して行う。 【削減予算】(報償費)126千円 (需用費)54千円	180	▲180	0
①	②		6 サロン活動支援事業	サロン活動等の活性化を図るため、動画を活用したレクリエーション講座を開催する。また、サロン主催者と支援者をつなぐための情報誌を作成する。	①動画でのレクリエーション講座⇒実施 【代替手法】なし(今年度企画が、昨年度まで集合型で企画していた事業の代替手法であるため) 【R3年度の取組】講師・撮影者を選考し、コロナ収束状況に応じて撮影。DVDに収録及びYouTubeでの共有閲覧を設定。地域へ広報(DVD貸与)。 【削減予算】なし ②マッチング冊子作成⇒実施 【代替手法】なし(今年度企画が、昨年度まで集合型で企画していた事業の代替手法であるため) 【R3年度の取組】委託先を選考し、支援者の情報収集・冊子作成を進める。冊子作成後、地域へ広報・冊子提供。 【削減予算】なし	870	0	870
		③	7 安全安心のまちづくり事業	交通安全の意識向上を図るため、小・中学生への啓発グッズの配布や、自転車月間に高校生との協働による啓発活動を実施する。また、防犯意識を高め、安全安心のまちづくりを推進するため、SNS等を活用した啓発活動を行う。	①小・中学校への啓発グッズの配布 ⇒ 中止 【代替手法】チラシの掲示による啓発を依頼する。 ②高校生との協働事業(校門での啓発グッズ配布による啓発活動) ⇒ 事業見直し(縮小) 【代替手法】校門での手渡し配布による啓発活動は中止し、各学校へ啓発グッズ(ティッシュ)を納品し、個別配布と校内放送による啓発等を依頼する。 【R3年度の取組み】人目に付きやすい場所へのチラシの掲示(商店街、校舎内)、SNSを活用した啓発活動を推進する。 【削減予算】(需用費)330千円	400	▲330	70
①		③	8 ちょこっとパトロール	地域活動の参加促進と地域防犯力の向上を図るため、地域と連携した「ちょこっとパトロール(※)」を実施する。※日常的にジョギングやウォーキングをしている方々に気軽にあいさつパトロールを行ってもらう取組み。	①ちょこっとパトロール(新規エリア拡充)⇒中止(不要不急の外出自粛を要請しているため) ②ちょこっとパトロール(託麻6校区エリア)⇒託麻エリアでの新規申込については、Tシャツ・ビブスの在庫で対応可能であるため継続して実施する。 【R3年度の取組み】限られた予算残額の中で募集チラシを作成し、参加募集を継続的に行うとともに、会員に対し、託麻地域6校区一斉防犯パトロールへの参加を呼び掛けを行い、事業継続を図る。 【削減予算】(負担金補助金)1,000千円	1,000	▲1,000	0
①		③	9 防災・減災啓発事業	住民一人一人の防災意識の向上を図るため、住民向けの防災知識や災害の備えに関する講座等を開催する。また、子育て世代の防災力向上を図るため、「子どもを守る防災術」の動画をホームページ、SNS、フリーペーパー等を活用し、広く啓発する。	①防災ワークショップ⇒事業見直し(縮小) 【代替手法】なし【R3年度の取組み】3まちセン2回ずつの開催を、2まちセン1回ずつの開催に見直し実施予定。 【削減予算】委託料 63千円 ②子育て世代向けの防災啓発映像のフリーペーパー等への広告費⇒事業見直し(縮小) 【代替手法】なし【R3年度の取組み】フリーペーパー 年3回×2社を年2回×2社へ変更 【削減予算】役務費 297千円	1,400	▲360	1,040

重点的取組み				事業名	当初事業内容	変更内容・代替手法等	予算額	削減額	見直し後
		③	10	地域防災合同訓練事業	住民の防災意識の向上と地域全体の災害対応力の強化を図るため、校区防災連絡会を主体とした実践的な防災訓練を実施する。	○実践的な各校区での防災合同訓練⇒ 事業見直し(縮小) 【代替手法】参加人数や、実施校区数を削減し実施する。1校区200人×9校区⇒1校区100人×4校区に変更 【R3年度の取組み】校区防災連絡会及び避難所運営委員会を対象に図上訓練や避難所開設訓練等を実施する。 【削減予算】(需用費)1,840千円	3,000	▲1,840	1,160
①		③	11	あさひばみんらの防災フェスタ開催経費	防災力の向上やイベントを通じたコミュニティの活性化を図るため、子どもから高齢者まで、防災に関する知識を楽しみながら学んでもらう防災講座や体験型ワークショップを開催する。	○あさひばみんらの防災フェスタ⇒6月3日付副市長通達「令和3年度における事務事業執行にあたっての基本方針について」に基づき 中止 【代替手法】なし 【R3年度の取組み】あさひばみんらに防災情報を掲載し、町内回覧等を活用して防災情報を発信する。 【削減予算】報償費104千円 需用費(一般需用費)86千円	190	▲190	0
①	②		12	東区健康まちづくり推進員支援事業	地域における健康まちづくりの活動を推進するため、健康まちづくり推進員(ボランティア)の活動支援やボランティア同士の交流の場づくりを行う。	①健康まちづくり養成講座⇒ 中止(3密となるため) 【代替手法】各地区の民協会議等で健康づくりについて啓発する。 ②健康まちづくり推進員協議会フォローアップ研修⇒回数や内容を見直し一部実施予定。 【R3年度の取組み】感染対策を講じた上で、役員会の開催、年2回程研修会実施予定。【代替手法】リスクレベルによって研修に代わり資料等を会員に送付する。 【削減予算】報償費 42千円	500	▲42	458
①	②		13	食でつながる地域の環事業	離乳期における食育の推進と子育て支援の充実を図るため、地域で活動する子育て支援者のスキルアップ研修や「離乳食のすすめ方・レシピ」の作成を行う。	①スキルアップ研修⇒ 中止(集合研修は密になる) ②「離乳食のすすめ方・レシピ」の作成⇒ 中止 【代替手法・R3年度取組】地域の子育て支援者への支援の代替はなし。コロナ前の状況で必要と思われる支援がコロナ禍後にニーズがあるか不透明。保護者への支援は、離乳期における食育啓発記事の掲載、電話相談対応、離乳食教室の開催でタイムリーに対応する。 【R4年度取組】次年度以降は、全世代向け食育啓発記事で対応とし、コロナ禍で加速したホームページやLINE、動画を活用した食育推進に移行するための準備を進める。 【削減予算】(需用費)465千円、(医薬材料費)12千円、(報償費)43千円	520	▲520	0
①	②	③	14	子育て支援ネットワーク活性化事業	安全・安心して子育てができるまちづくりを推進するため、区や校区単位の子育て支援ネットワーク活動や、地域の主体的な子育て支援活動への支援を行う。	①子育てネットワーク研修会⇒ 中止(3密となるため) 【代替手法】なし ②東区子育て支援ネットワーク連絡会⇒回数や内容を見直し一部実施予定【代替手法】感染予防を講じた上で会議を2回程度行う。【R3年度の取組み】リスクレベルに応じて書面会議を実施 ③子育て世代向けの防災啓発映像を活用した防災・減災の啓発(チラシ作成、DVD複製)⇒業者委託により 予算執行済 【代替手法】なし【R3年度の取組み】防災啓発映像(動画サイト・DVD)を地域の子育て支援関係機関や個人単位で視聴できるよう働きかける。 【削減予算】なし	340	0	340
①	②		15	地域ささえあい推進事業	認知症の人やその家族に対する理解と住民同士の支え合いを推進するため、認知症サポートリーダーの活動支援や、地域団体が行う認知症声かけ訓練の支援を行う。また、自立(自律)の意識を高めるための広報活動等を行う。	①認知症理解浸透事業⇒ 事業見直し(縮小) 【代替手法】サポートリーダー養成講座のオンライン化【R3年度の取組み】R4年度以降、オンラインでの養成講座実施を目指し、R3年度は修了生を対象にオンラインでのフォローアップ研修を予定【削減予算】旅費(普通旅費)100千円 計100千円 ②認知症声かけ訓練⇒ 事業見直し(縮小) 【代替手法】なし【R3年度の取組み】地域団体の開催状況に応じ、後方支援を行う(物品貸出、事前研修会の開催、開催方法の相談対応等) 【削減予算】旅費(費用弁償)5千円(普通旅費)5千円(特別旅費)4千円 使用料54千円 負担金6千円 計74千円 ③自立意識醸成事業⇒ 事業見直し(縮小) 【代替手法】感染対策に配慮した啓発を継続【R3年度の取組み】啓発チラシやセルフチェックカレンダーの作成、配布等 【削減予算】報償費45千円 旅費(特別旅費)50千円 使用料18千円 計113千円	1,270	▲287	983
①			16	自然環境魅力向上事業	全国都市緑化フェアを契機として、託麻三山の観光資源としての更なる知名度向上や地域の交流拠点としての利活用を促進するため、環境整備(案内板の設置)を行う。	緑化フェア予算活用⇒案内板設置は、土木センターへ再配当後R3年度中に設置される予定	-	-	-
①	②		17	(仮称)東区民まつり開催経費	地域活性化や住民が主体となったまちづくりを推進するため、地域と連携しながら(仮称)東区民まつりを開催する。	○(仮称)東区民まつり⇒ 検討中 。※実施主体が商店街を中心とする実行委員会組織のため、実行委員会を開催し決定予定。 【代替手法】休止の場合、なし(実施しない)。 【R3年度の取組み】R4年度の開催に向けて、新しい生活様式を踏まえた内容の検討を図り、魅力ある区民まつりとなるよう共同で推進する。	2,200	0	2,200
①	②	③	18	まちづくり懇話会開催経費	区民と区役所の協働によるまちづくりを推進するため、これからの東区のまちづくりについて、懇話会委員と意見交換を行う。	○東区まちづくり懇話会⇒現状維持(回数・内容の変更を行い実施。感染拡大防止のため6月開催分は中止。) 【代替手法】回数減(4⇒3回)。地域課題をテーマにしたワークショップ(意見交換)は中止。【R3年度の取組み】新型コロナウイルス感染症の影響による区役所や各団体の取組みや新たな課題について情報共有し、新しい生活様式を踏まえた今後のまちづくりのあり方を協議する。	350	0	350
①	②	③	19	東区地域活性化支援事業	地域活性化や自主自立のまちづくりを推進するため、地域と密に連携しながら、地域が主体となった課題解決への取組への支援をスピーディかつきめ細かに実施する。	○地域ニーズ・地域課題への緊急対応経費⇒現状維持(新型コロナウイルス感染症によって新たに生じる地域課題等にもスピーディに対応するため) 【R3年度の取組み】地域からの要望等に応じて可能な限り柔軟に対応する。	1,000	0	1,000
合計							19,000	▲4,800	14,200

【東区復興支援自治推進経費】

(単位:千円)

重点的取組み				事業名	当初事業内容	変更内容・代替手法等	予算額	
①	②		④	1	仮設住宅等入居者・退去者交流支援経費	仮設住宅等入居者や退去者が、新たな生活環境で孤立することなく、互いに支え合えるコミュニティを形成するための交流会を開催する。	秋津災害公営住宅周辺地域での交流会⇒ 新型コロナ感染症の予防策(時期、内容、場所、参加人数等)を講じた形で実施できるか検討する。 【代替手法】【R3年度の取組み】秋津校区の防災訓練時に連動した形で実施できないかを検討する。 【削減予算】当初:委託費500千円、需用費120千円(計620千円)⇒変更後 委託費0円、需用費120千円(計120千円) ※削減額 500千円	620
		③	④	2	校区防災連絡会・避難所運営委員会活動助成経費	校区防災連絡会・避難所運営委員会の活動等に対して、費用の一部を助成する。 ※内訳:1避難所@3万円(東区内18校区36避難所分)	○校区防災連絡会・避難所運営委員会活動助成⇒地域の活動支援経費のため現状維持。 【R3年度の取組み】各校区防災連絡会長への申請案内を実施している。	1,080
合計							1,700	